

議 会 広 報 広 聴 委 員 会 記 録

令和4年11月24日（木）
13時30分～14時52分
全 員 協 議 会 室

- 【出席者】 三浦委員長、村武副委員長、
肥後委員、村木委員、大谷委員、沖田委員、川上委員、小川委員、
上野委員、川神委員
- 【議長団】 笹田議長
- 【事務局】 河上局長、小寺書記
-

議題

- 1 はまだ議会だよりVol. 68について…………… 資料1
 - (1) ページレイアウト
 - (2) 掲載記事及び原稿提出締切
 - (3) その他

- 2 はまだ議会だよりminiについて…………… 資料2
 - (1) 第18号掲載内容及び原稿担当
 - (2) その他

- 3 議会報告会について…………… 資料3
 - (1) 実施方法及び時期の検討
 - (2) その他

- 4 主権者教育の推進について…………… 資料4
 - (1) 島根県立大学との共同研究の進捗
 - (2) その他

- 5 その他

【次回委員会開催予定日】 令和4年12月5日（月） 個人一般質問終了後から

【議事の経過】

[13時 30分 開議]

三浦委員長 | 議会広報広聴委員会を始める。出席委員10名で定足数に達している。本日の議題はその他含めて5点ある。

1. はまだ議会だよりVol.68について

(1) ページレイアウト

三浦委員長 | 小寺書記から説明をお願いする。
小寺書記 | (以下、資料をもとに説明)
三浦委員長 | 皆からレイアウトに関してご意見等はあるか。
(「なし」という声あり)
これで基本的によいと思うが、まるよみと読者アンケートのところで、アンケートを前に持ってきて、見開きではまだ市民一日議会の報告をしたらどうかと思うが。
小寺書記 | 9ページに読者アンケートを持ってきて、10、11ページを丸読みにすると、4分の3ページ分あるのでできなくはないと思う。
三浦委員長 | アンケートの報告が2回分あるので少しボリュームを見て、読者にとってより見やすいレイアウトを考慮したいがよろしいか。
(「はい」という声あり)
では、特段ご意見ご質問ないようなので、このようなページ割り振りで進めたい。

(2) 掲載記事及び原稿提出締切

三浦委員長 | 小寺書記から引き続き説明をお願いする。
小寺書記 | (以下、資料をもとに説明)
三浦委員長 | ではいつものように順番で役割を決めていきたい。ぜひ積極的な立候補を期待したい。
まず定例会議のトピックスを二つ。どなたか書いていただけないか。
川上委員 | 前回やると言って任せてしまったので、一つだけでも私がやろう。委員会のほうもやるので。
三浦委員長 | では一つ、川上委員をお願いする。
川上委員 | 産業建設委員会についても私が書く。

三浦委員長 はい。ではもう一つトピックスどうだろうか。今までトピックスを書かれたことがない方は。

肥後委員 はい。

三浦委員長 では肥後委員よろしいか。

肥後委員 こちらこそお願いします。

三浦委員長 はまだ市民一日議会の報告。前は各発言者のコメントを少しずつ要約してページをつくり、あとは全体的な振り返りのようなものを書いた。今回はどうしようか。アンケート結果などの集約や各発言者のコメントなどの要約もこちらである程度するので、はまだ市民一日議会を振り返ってどうだったか、見出しの部分を担当いただくとうれしいのだが。

小川委員 はい。

三浦委員長 では小川委員にお願いします。次は市民対談。テーマもまだ決まってないのでこれは後回しにしようか。先に委員会活動レポートから。産業建設委員会は川上委員にお願いします。

村木委員 福祉環境委員会をやる。

三浦委員長 はい、村木委員は福祉環境委員会。

上野委員 協働のまちづくり推進特別委員会をやる。

三浦委員長 はい。議会改革はどうか。この前はBCPについて書いたが。あと議会運営委員会もある。

沖田委員 やろうか。

三浦委員長 沖田委員に議会運営委員会をお願いします。総務文教委員会は。

肥後委員 はい。

三浦委員長 肥後委員にもう1個お願いします。今出ているだけでいくか。記事の中身は。今出している情報の継続審議ということであれば、一旦五つでいこうか。

小寺書記 BCPは一応できた。まだ載せてはないと思うが。

三浦委員長 そうしたら確定したところを書いていただこうか。コロナ支援対策本部が一緒になったということもある。議会の仕組みがそのように変わったということで一応確定記事をお願いしたい。議会改革推進特別委員会はどなたにご担当いただけるか。

小川委員 はい。

三浦委員長 では市民対談は。まだ取材に行かれたことない方はおられるか。

小川委員 はい。

三浦委員長 小川委員はそうなると多くなるので、ぜひ次回ということにして
いただいて、上野委員よろしいか。私も撮影には行くし協力も
するので、ぜひ一緒に。上野委員と私とで。

大谷委員 川神委員と大谷委員の担当がないが。
後書きがある。

三浦委員長 川神委員、上野委員は市民対談で負担が大きいかと思うのでお
願いしてよろしいか。

川神委員 はい。

三浦委員長 では担当をもう一度確認のため申し上げる。
(以下、決定した担当コーナー読み上げ)
担当が決まったので、あとは市民対談の掲載記事を決めたい。
皆からテーマ及び取材対象となる方の推薦があればお願いします。
小寺書記、今まで案で挙がった方でまだ対応していないケース
はあるか。

小寺書記 地域公共交通の関係で、まちづくりセンター単位で取り組みし
ている件や、高校生の候補がいろいろあったがまだ聞けてない。

三浦委員長 今共有いただいたテーマもあるし、そのほかでも。高校生を対
象にというのもあるが、今は魅力化プラットフォームで各高校に
コーディネーターが配置されていたりする。高等学校関係でいえ
ば魅力化の取り組みを対象としてもよい。
今度、浜田高校と水産高校で取り組みがあるので、それも踏ま
えて魅力化コーディネーターや学校での取り組みなどを取材して
もよい。どうだろう。もし異論がなければ。上野委員、どうか。

上野委員 よい。

三浦委員長 ちょうど高校生の活動も取材してみたかったので、魅力化コー
ディネーターの方々に少し話を聞く形で、市民対談を進めたい。
ほかには。

小寺書記 読者アンケートの設問は前回どおり、気になったページなどで
よいか。

三浦委員長 今回の紙面で気になったことでよいか。各常任委員会からアン
ケートの希望が今の段階でなければそのように進めたい。
(「異議なし」という声あり)
ではそのような設問にさせていただく。

(3) その他

三浦委員長

その他皆から何かないか。

(「なし」という声あり)

2 はまだ議会だよりminiについて

(1) 第18号掲載内容及び原稿担当

三浦委員長

小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

では掲載内容について協議する。1月1日号なので新年のご挨拶をまた掲載しようと思っているが。去年は委員長だったが。では委員長で書かせていただく。もう1個どうだろうか。先ほど本紙の2月号の委員会活動レポートで、議会広報広聴委員会のスペースを失念していた。大学生との共同研究のことなどもあるので、本紙に載せつつminiでも書くか。本紙には載せようか。

小寺書記

この後の議題でまた協議はするのだが、実施予定日が一応12月21日とのことなので、原稿の締め切りが本紙にはぎりぎりかと。miniなら載せられなくはない。

三浦委員長

ほかに、各委員会等からminiに掲載すべき取り組み等あればお願いします。

川上委員

産業建設委員会はこちらにもう書いてある。

三浦委員長

これは案だが。

川上委員

同じことを書こうと思う。

三浦委員長

ではこれを書いていただき、本紙はまた別に。

川上委員

その辺はまた考える。どちらかで。miniのほうでこの前と同じパターンでやっていく、委員会のほうでは別に考える。

三浦委員長

そうしたら意見交換会の記事をminiのほうで川上委員に担当していただきたい。残りの議員のつぶやきと議長日誌について。暫時休憩する。

[13時 55分 休憩]

[13時 57分 再開]

三浦委員長

委員会を再開する。議員のつぶやきと議長日誌だが、議長日誌は適宜調整いただくとして、議員のつぶやきで何かトピック的

なことがあればぜひ触れていただきたい。まだつぶやかれていない方は。本当に身近な、日々の暮らしの中でお気づきのことを。では村木委員にお願いします。

(2) その他

三浦委員長

m i n i については以上でよろしいか。その他ないか。
(「なし」という声あり)

3 議会報告会について

(1) 実施方法及び時期の検討

三浦委員長

配信された資料について小寺書記から補足説明をお願いします。

小寺書記

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

2023年の年間を通した広報広聴の取り組みを見ながら、地域井戸端会スタイルでの広聴会の開催を、どういう形でいつごろやるべきか皆の意見を伺いたい。現在、地域井戸端会にかわる手法として地域協議会との意見交換会を行っているが、その実施等についても皆から意見があれば伺いたい。

大谷委員

夏にやった分が議会報告会のかわりという位置づけで捉えているのか。地域協議会単位でやったが。

三浦委員長

改めて経緯をお話ししておくと、地域井戸端会を年2回やっており、公民館に出向いて参加される方とワークショップ形式で意見交換会を行っていた。コロナになり感染防止の観点からそうした形での開催が適切ではないのではないかと、それにかわる広聴機能をどう担保するかということで、参加者があらかじめわかっている、そして地域の代表者の集まりである地域協議会の方々を対象にして、広聴機能が停滞しないよう活動を継続しようということで始めた。

大谷委員

コロナのことを心配して話が出るが、参加者があらかじめわかっているれば特定された者の集まりになるので、コロナのことをこれまでのような捉え方でなく、もう少し緩やかにやることは時期的にはもう可能ではないか。本来の議会報告会、今年はもうできないという認識の中でこの話になるのか。

三浦委員長

地域に出向いていく形での議会報告会、地域井戸端会をそろそろ再開したらどうかという提案があったので、開催を検討してい

る。もう一つ、これまでの議会報告会、地域井戸端会はどなたが参加されるか事前申し込み形式ではなかったため、当日までどなたが何人来られるかは把握してなかった。

大谷委員

であるなら誰が来て、もしものときにはそれが追跡できるようにということであれば、あらかじめ参加申し込みを受けてやれば問題ないのでは。今ここで提案のあった5月の緑色の枠を想定しているということでしょうか。

三浦委員長

例年、春先と秋の2回開催をベースに考えれば、今年度は地域協議会との意見交換会を行っている。そして一日議会を先般行ったので、来年度はそれにかわる広聴機能をどのような形で行うか、来年度の計画になる。それ以外で、例えば今年もやったらよいのではということであれば、それはそれで提案を受けたいと思うが。

大谷委員

今年ではなく来年度どうするかという話がいきなり出てきた感じなので、まずは今年の実施はもう難しいと判断した上での来年度の検討なのか。これはこれ、今年はまだ余地があるのか。

小寺書記

大体、議会報告会をやるときにはまだ議会だよりで周知をするので、それがもう今年度だと難しいかという印象ではある。一番早いところで5月をイメージしている。

大谷委員

ということは今年度については簡単に言えば時間切れ、年度内の対応は難しいので来年度に向けての検討に入ろうという認識で受けとめればよろしいか。

三浦委員長

こちらとしてはそのように考えていた。

川上委員

今示されている来年5月の件だが、時期的にちょうどよい時期かと。全て開放してできるので、コロナについてはさほどきつく考えなくてもよいので十分可能だと思う。1月から計画して5月に。はまだ議会だよりで2回周知できると思う。あまり好きではないがワークショップ形式でやっていくこともぜひとも必要だと思うので、そういう形でやったらよい。一方的にこちらから報告するのはわずかにとどめ、あとは皆の意見を聴く形でよい。同時に、10月の一日議会についても、もともとやっている年2回の活動で考えたらよいことだと思うので、これも10月にぜひやっていただければと思う。

小川委員

年2回地域井戸端会と開催すると言われたが、もともとは議会報告会を年2回やって、秋を地域井戸端会という形でやっていた。

最近はコロナの関係でやってないが、もともとのいきさつはそういう形で進んでいた。

時期的には今年度は無理だから一番近いところということには賛成である。そろそろやるべきではないかという意見もたくさん出ていたので。ただそれを従来の形にするのか、新たな参加者の発掘ということでオンライン方式を併用するかは検討したほうがよい。それと関連して、地域協議会との関係だが、これもやる中で二つ意見がある。もともと市長部局の機関である地域協議会がなぜ議員と意見交換しなければいけないのかという意見もあったし、議員との意見交換が有意義だったという意見もあった。ただ、開催に至った経緯は議会報告会が開けないことによる緊急措置だと私は受けとめていた。地域協議会の皆なら幾らか市民の意見を把握しておられるのではということ何度かやってきた。それは成果だと思うが、基本的には市長部局機関なので、そこでの意見交換会を定期的にやっていくのは少し無理があると感じる。

市民一日議会だが、この2回やった中で議員側に今後の継続を望む声が多いのか少ないのかははっきりわからない。前は意思統一が不足していた印象があるが、今年を見る限りはそのような心配事はあまり見受けられなかった。こういう形なら今後も続けていったほうがよいと感じるが、議会全体で第3回目をやろうという意思が確認できるならやってほしい。ただ、やるなら改善点の聴取はしてほしい。

大谷委員

議会報告会、今年が無理ならば来年度の早い時期ということでは5月の設定はありだとは思っている。ただ、2回設定していた中でかわるものが一日議会だというのは、もう少し論議をしていかないといけないのかなど。

今、委員会のほうで今年度の取扱いをどうするか検討してもらっている。それについてある程度の方向性が出たところで、この流れならやれるかどうかの判断を、一日議会においてはそこまで待ってもよいのでは。一日議会の継続が論議の題材として出てきているとはいいいながら、まだ結論が出てないものをこの時期に話すのはいかがかと思う。

もう1点、地域協議会の件は両論ある。やらないならやらないできちんとした説明ができるような確認をしておいたほうがよい

かと思う。

三浦委員長

誤解なきように説明しておくが、市民一日議会の第3回の開催についてはまだ決まってないが、これまでの形での議会報告会あるいは地域井戸端会がコロナのためにできなくなったことを踏まえて、市民一日議会と地域協議会との意見交換会という新しい広聴機会を設けようということは、これまでの委員会での議論をへた経緯がある。委員会の中できちんと議論された上でこのような形になっている。したがって、第3回の一日議会をやるかやらないかはこれからの議論にはなるが、地域井戸端会ないし議会報告会を、これまでのようなスタイルで再開するとき、一日議会あるいは地域協議会との意見交換会をどうするのかは、併せて協議していく必要があるだろうということで、情報として載せさせていただいた。そこは補足しておきたい。

年2回のこれまでの形の地域井戸端会や議会報告会という形がよいのか、年4回くらい、例えば出る議員数を減らして回数を増やしたほうがよいのかとか、さまざまな提案があるかと思う。大きい方向性を決めていくタイミングだと思うので、意見をお持ちならこの段階で出していただきたい。

川神委員

コロナ禍で地域協議会との意見交換会をやってきたが、恐らく来年あたりにはそろそろ民間薬品が市場に入ってくる。そうなる今以上に安定した生活が可能なので、地域井戸端会などは可能だろうと認識している。そうすると、地域協議会との意見交換会を否定はしないが必要に応じてやればよいことであり、やはりそういう会に出てものが言えない一般市民の意見を吸い上げるために地域井戸端会は復活する必要があると思っている。

議会報告会と地域井戸端会とあるが、議論ができる、もしくはテーマを決めて市民からの意見を求められるような運営をしていくのが効果的かと思う。年何回かという話があったが本当なら2回くらいやって、1回はフリートキング。もう一つは、例えば今問題になっている環境問題や、特に住民の関心が高い課題を決めてでもよいし、浜田市民が本当に関心を持っているものに絞るような会議、または本当に自分たちが疑問を持っているような、そういう色分けの地域井戸端会があってもよいかと思う。

市民一日議会に関しては、コロナが改善されると要らないかと

いうと、今、参加者に聞くと同じような意見を言うにしても、あの場所じゃべるのは自分たちもそれなりの思いがあり、また議会に対する理解にもつながっていると思っている。進化させていくために継続を、新たな持つ意義も含めて前向きに検討して、継続していくのも方法だと思っている。

沖田委員

以前定数のアンケートだったか、大規模に全体アンケートを募集した際に圧倒的に多かった意見が、議員は人の話を聞け。そのことについて議会として何か是正したかといわれると、それほど変わってない。一日議会という飛躍的進歩もあったが。となると、議会報告会の必要性ももちろんあると思うが、やはり人数を減らしてでも地域井戸端会の会場を増やすとか、業種別にするとかは常々思っていた。地域井戸端会の回数を年2回に縛らず、ある程度柔軟にやってもよい。結論は、地域井戸端会の回数をもう少し増やしたらどうかということである。

小川委員

広聴機能の関係で議会報告会や地域井戸端会という議論もあるが、会派内で時々話が出るのが、例えばどこか場所を決めて、案として出ていたのが中央図書館の椅子を借りて、あそこに議員が2人ずつでも、曜日を決めて座り、何でも言ってくれという場を持ったらどうかと。広聴機能を高める意味で。集まってやる、あるいは議場で意見を言うのも大事だが、こちらがいつでも待っている場所、あそこに行けば議員がいるからちょっと行ってみようかなということがあるような工夫もあってもよいのではと。もし考慮していただけるなら頭の隅にでも置いていただければ。もし無理なら、会派でやってもよいではないかと。会派室を開放して、毎週か隔週でもこの日の何時から何時までなら、といった方法でもよいし、いろいろな方法があると思う。議員と市民との距離を縮める努力も考える必要があると思っている。

三浦委員長

小川委員からご提案もあったが、過去行っていた議会報告会あるいは地域井戸端会のような班編成と開催スタイルではなく、もう少し人数を絞って定期的に、第何曜日はどこにいるといった形式にしたらどうかという提案もいただいたのだが、どうだろうか。

大谷委員

小川委員の言われたことは同じ会派ということで一緒に話をしているが、今案として出ている福屋のオープンスペースに、先ほどもあったように曜日と時間帯を決めて、法律相談のように、こ

こにいるので言いたいなら来てというような体制もありなのではないかという話はしている。

広聴機能は委員会としてやるのはありだが、そもそも各議員が個人として広聴機能を発揮していくのは当然で、その上で議会としてどうかというときに、委員会や議会としての活動があるべきだろう。輪番で声を聴く場面はありかと話をした。

聴いたことを返していくのが一番大事なので、それをどういう形で返すかも踏まえながら回数や日程を検討したほうがよい。市民からすれば、言ったはよいが返事がないというのは逆に不信になるかと思うので、そこも考慮すべきである。

川上委員

確かに配置して意見を聴くのはよいが、行政相談室、本庁1階や各支所にもある。これは行政に直結するので話が早い。議会へ相談を持ってこられても、議会で1回もんでから再度行政へ行くので少し違うのかなど。聴く意見は行政に直接絡むことかもしれないが、議会全体で考えないといけない意見を吸い上げる場所が一番よい。特段どこかに1人、2人置いて話を聴くのは少し違う気がする。

村木委員

先般10月25日に三隅地域協議会に参加したのだが、その他のときにある委員から、夏にやった意見交換会の回答がないという話が出てきて、そもそも回答すべきことだったかどうか把握していないのだが、やはり回答を求めている。ある委員は、自分は出られなかったので手紙を託したのだが、その手紙に対する返事も無いという声もあった。回答すべきか否かも意識する必要があると思った。

上野委員

旭でいろいろなところに行ったときに、地域協議会でも声をかけていただくのだが、そういったところでは市民の声はなかなか集まってない。あちこち行ったときに言われるのが、昔のような地域井戸端会はしないのかと。旭の地域井戸端会はかなりの人数が参加していた。自由にテーマを決めて話をしようといえば、いろいろな方からいろいろな話をしてもらえと思う。僕が地元に行くよりは、かえってほかの地域の議員と一緒に地域井戸端会をやれば、いろいろなことを言えると思うので、ぜひやってほしい。

先ほど話があったように、例えば場所を決めてそこへ来てくれといっても奥の人はなかなか来られない。私も長いこと人権擁護

委員をやっていたが、地元で言いにくいからよその地域へ相談に行くという方がいる。そういうのを考慮すると場所を決めてそこへ行ってもらうのは難しいと感じた。

三浦委員長

かつてのような形で議会報告会をやってほしいという声があること、そういった市民が参加しやすい広聴の場づくりはしていかないといけないと思っている。伺った意見をどう戻していくかが大事だという意見が委員から出ている。今は読者アンケートの形ではまだ議会だよりを通じていただいているので、議会だよりを通じてお返しする、あるいはホームページに掲載している。その答えは、所管委員会に振って委員会で戻す回答を協議いただいて、委員会として取扱いを審議してもらっている。一日議会に関しては全員協議会で協議して、委員会に割り振って協議あるいは取扱いをしていただき、またそれも返していくといった一定の方法で対応している。ほかに、もう少し強化・改善して戻したほうがよいといった意見があれば、この流れで伺っておけると今後の事業構築の参考になるのだが。

川上委員

いずれにせよ一日議会はこのような形で回答するようになったので、地域協議会との意見交換会、または地域井戸端会についても、開催後にその内容を各委員会に振れるものは振っていただき、回答を求める形でどこかに出せばよいのでは。それほど難しいことではない。執行部側に強く伝えるとだけするかもしれないし。それでよいと思う。

大谷委員

地域協議会を例に挙げるが、地域協議会の中で意見を言われた方の場合、やったことをどこに載せたとか、載っていることを直に文書で返してあげると、回答があったという認識をされる。そこまで案内をしないと本人にとっては返答がないという認識になるのでは。議会側にはやるべきことはやったという認識があっても、本人にそれが伝わらないから、やってないという認識が残ってしまっているのでは。もう少し丁寧に、電話1本なり、ここに載っているなりすると確実ではないか。

川上委員

多分この問題は議論が尽きないので、来年やりたい方向性を出していただき、やり方については今後、検討したらどうか。

三浦委員長

では本日いただいた意見を踏まえ、この2023年度の計画案をこちらで作成し、皆にまた問いかけたい。議会報告会、一日議会も

そうだが、全議員で取り組む内容になるものもあると思うので、この委員会でしっかりもんでいただき、全議員に協力を呼びかけて理解をいただける事業計画で進めていきたい。皆からも、聴くだけではなくどう戻していくのがよいのか、今のやり方に対して改善すべき点も含めてしっかり意見をいただき、まとめていきたい。案については正副委員長で考えたい。

笹田議長

この件に関して議会改革推進特別委員会で話をさせてもらったのだが、広報広聴の部分は浜田市はほかの議会に比しても非常に充実している。議会機能の拡充ではなく、議会機能の運用について進んでいかないといけないと考えている。先ほどあったように一日議会やアンケート、地域協議会との意見交換会とあったが、おのおのが違う返し方をしている。どれを取っても非常に重要な意見なので、どうしたら統一的に返せるかを議論していただかないと軽重が生じてしまう。そのあたりはこの委員会でしっかりやっていただきたい。

三浦委員長

議長からもあった点も含めて、少し正副委員長で議論して皆に提案してみたい。

(2) その他

三浦委員長

皆から何かあるか。

(「なし」という声あり)

4 主権者教育の推進について

(1) 島根県立大学との共同研究の進捗

三浦委員長

小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

まず学生と議員、真剣しゃべり場(仮)の開催について。12月21日となっているのは、学生のゼミの日程等もあり、この日だと参加者が多く募れるのではということもあり設定させていただくものである。先方の参加人数とバランスを取る形で10人程度がよいのではと考えている。この委員会で対応するか、あるいは会派から選出して10人前後くらいで行うか。皆から意見を伺いたい。

川上委員

当委員会の委員が全部出る必要性はないと思うので、各会派から4・3・2・1で意見交換の場に出していただければ。

三浦委員長

ほかに意見は。特段なければ川上委員から提案があったような形で調整してよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

では、各会派から4・3・2・1で当日は対応したい。委員会のバランスなどはよいか。

(「はい」という声あり)

ではそのように進めよう。二つ目、議会講習。これは学生がどのように日々の議会や行政の動きに関する情報を得ているかという、インターネットからが圧倒的に多いというのが学生からの意見で、そうしたところを議会にも伝えることでコミュニケーションがスムーズに取れるのではという大学側からの提案だった。講習会というタイトルになっているが、そういうことを議員各位に伝えながら、例えばこういうツールでの情報発信をしていただけるとうれしいといったことも含めての提案をいただく場なので、一つの意見としてよい場になるのではと思っている。人数制限はないので希望する議員に出ていただくよう案内しようと思うが、よろしいか。

(「異議なし」という声あり)

ではそのような形にしたい。あとは議員インターンシップだが今は1名、大学生から希望があった。その1名の希望の中で、もちろん議会全体としての動きを見るということで、ちょうど12月定例会議があるので各委員会を傍聴していただくといったことは事務局と相談しながらスケジュールを組みたいと思っているが、一つ先方からの希望で、自分の関心のあるテーマについて議員と意見交換したいというものがあった。環境政策に関心があるとのことで、学生自身でこれまでの一般質問や委員会での発言、各議員のホームページなどで情報収集する中で、3名の議員指名があった。肥後議員、村武議員と私だった。ちょうど当委員会委員であり、その意見交換については3人で調整させていただき、インターンシップ期間中に話を聞く形を取りたい。そういう形でインターンを受け入れるということでよろしいか。

(「はい」という声あり)

時間があれば議長団にもぜひ対話の時間を取っていただければと思うので、その節はご協力をよろしく願います。

ということで共同研究についてはこのように進めていきたい。

(2) その他

三浦委員長

小寺書記

この件についてほかに。

今度12月1日の全員協議会で、しゃべり場はこのようにやるので会派から何人調整をお願いするといったアナウンスをするのと、議会講習についても希望者はぜひ参加をというアナウンスを、この資料に肉づけする形で三浦委員長から報告していただければと思うがよろしいか。

三浦委員長

私から全員協議会の場をお願いさせていただくが、会派から参加議員の選出があるので、各会派で調整いただくようお願いする。公明クラブには事務局を通じて案内する。

5 その他

三浦委員長

沖田委員

沖田委員から提案をいただいているので、説明をお願いします。

浜田高校生とのHIRAKUのときに、議員を志したいという高校生がいたという話を前回したと思う。その女子高生の意見を反映するべく考えてみたが、この程度のものしか出てこなかったというのが正直なところである。地域井戸端会と少し似通った話になると思う。同じ方式だが、参加対象を浜田市内に通う高校生全般にしたらどうかということである。開催場所は例えばまちづくりセンターや図書館の2階など、どこかスペースがあれば特にこだわらず開催したらどうか。言うのは簡単だが周知方法を全高校生対象となると、実際かなり大変だと思っている。スマホを使った周知方法などもできたらと思う。

三浦委員長

沖田委員

テーマなどはどのように設定するかお考えか。

僕が高校生を対象にこういうことをテーマにやってみたいというのももちろんあるが、これを議会や当委員会でやるとなると、要議論かと思っている。何もなくてただお話をしようというのではなく、テーマ設定は委員会で話し合って決めればよいと思う。

三浦委員長

テーマの設定方法について補足説明をいただいたが、今日ご案内いただいた高校生対象とした井戸端会について、皆から次回ご意見をいただきたい。本日の提案を受けて、内容をさらに熟読いただき、次回に意見をまとめてきていただければうれしい。

- 小川委員 そのほか、皆から何かあるか。
- 小川委員 沖田委員からの提案で気になっていたのは、今、アンケート箱を各まちづくりセンターに置いているが、当面学校にも置いたほうがよいのかと感じた。Z世代の方々が市に求めるもの、どういう市にしたいか、何でも意見をもらおうと。沖田委員の提案とは少し違うが、それも少し考慮していただければ。
- 三浦委員長 今、せっかく小川委員からも高校生に対してこういう取り組みをしたらどうかという意見をいただいたので、沖田委員の意見と併せて、次回具体的に扱いたいと思うが、小川委員よろしいか。
- 小川委員 はい。
- 三浦委員長 皆と協議していきたい。それについても皆考えをまとめておいていただくようお願いする。
- 小寺書記 では次回の委員会日程である。小寺書記からお願いする。
- 小寺書記 12月5日月曜日、個人一般質問が終わってからお願いしたい。読者アンケートの締め切りがこの11月末なので、改めて担当のまちづくりセンターに出向いていただき、回収の確認をしていただいた上で、アンケートがあった場合は各委員会等に振り分ける必要があるので、その振り分け先の確認をこの日に。高校生との井戸端会や小川委員の提案についても、そのときに併せてできれば。
- 三浦委員長 12月5日、先ほどの内容で開催したいがよろしいか。
- (「異議なし」という声あり)
- では12月5日、よろしく願います。そのほか、改めて皆からなければ終わりにしたいがよろしいか。
- (「はい」という声あり)
- スムーズな進行にご協力感謝する。以上で議会広報広聴委員会を終わりたい。

[14時 52分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦 大紀